

2018年度（平成30年度）入学試験筆記試験第2次募集（小論文試験）

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

[出典：フェリックス・マーティン（遠藤真美訳）『21世紀の貨幣論』（東洋経済新報社、2014年）1～41頁。出題の都合上、文章を省略し、注及び小見出しを削除する等の変更を加えた。]

設問1 標準的な貨幣論における貨幣の起源と本質とは何か。また、問題文の筆者が主張する貨幣の本質とは何か。200字以内でまとめなさい。

設問2 (1) 国家が貨幣発行権を独占することはできるか。また、個人で貨幣を発行することが可能であるか。問題文の筆者の主張に基づき、答えなさい。さらに、(2) 個人が貨幣を発行することができるとした場合に生じる問題を複数挙げ、国家によるその対処が必要であることを前提とした上で、その対処法について論じなさい。(1)及び(2)を合わせて、800字以上1,200字以内で答えること。